

報道関係者各位

2012年12月3日

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本
マニユライフ生命保険株式会社
社会福祉法人中央共同募金会

～小学生が社長になってぼうし屋さんの経営を体験～
「マニユライフ生命 CAPS(キャップス)経営コンテスト 2012」決勝戦

今年の決勝戦から初めて iPad を利用してコンテストを開催！

**北海道、関東、東海、関西、九州の 5 エリア代表全 8 チームが、
ぼうし屋の利益を争い熱戦を繰り広げる！**



関西地区代表の 6 年生女子チームがみごと全国優勝！

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本主催、マニユライフ生命保険株式会社特別協賛、社会福祉法人中央共同募金会協力による、第 7 回「マニユライフ生命 CAPS 経営コンテスト 2012」の決勝戦が、12 月 2 日(日)、マニユライフ生命保険(株)本社(調布市)において開催されました。

今年で 7 回目の開催を迎える同コンテストは、ジュニア・アチーブメントが小学校高学年から中学生向けに開発した経営シミュレーション・プログラム「CAPS」をコンテスト形式で行うものです。小学 4～6 年生の子どもたちだけでチームを作り、仮想のぼうし屋さんを運営し、①ぼうしの値段 ②仕入れ数 ③宣伝広告費 ④ぼうしに刺繍を入れるためにレンタルする機械などを決め、累計の売上げ利益で業績を競い合います。

2006 年の実施以来、おかげさまで参加者および関係者の方々より高い評価を頂き、北海道、関東、東海、関西、九州の 5 地域で地区予選を開催いたしました。地区予選では、合計 41 チーム 161 名の児童が参加し、それぞれのエリアで好業績をあげた 8 チーム(1 チーム 4～6 名)、計 34 名の児童が東京での決勝戦に臨みました。

決勝戦は、今年から初めて iPad を利用して行われ、全 7 回におよぶセッションでは子どもたちは柔軟に iPad を使いこなして議論を行い、例年以上にレベルの高い大会になりました。そうした中、関西地区予選から参加で女子のみで構成された 6 年生チーム(チーム名「CAPSMILE」、メンバー構成: 6 年生 4 名)が、見事優勝を飾りました。

優勝した CAPSMILE チームは、「リーダーが一人一人の意見を尊重してくれたので優勝することができました」「宣伝広告費が予選と比べて低かったのが難しかったです」「相手チームの数字を逆算して分析をしながら戦略を立てていきました」とコメントをしています。

コンテスト終了後には表彰式が行われ、マニユライフ生命の森田均代表執行役社長からの健闘をねぎらう言葉とともに、表彰状が子どもたちに手渡されました。

このプログラムの目的は、チームでの話し合いを通じて、子どもたちに実社会の経済の働きやお金を得ることの難しさ、楽しさを実習する機会を提供するとともに、意思決定力、他人と違う意見を述べる勇気、自分と違う意見に耳を傾ける寛容性、リーダーシップ、チームワークなど、今後生きていく上で必要となる資質の重要性を実感してもらうことにあります。今後も本プログラムの普及促進を図り、児童の社会的自立力の育成に取り組んでまいります。

第7回「マニライフ生命 CAPS 経営コンテスト 2012」決勝戦 概要

- ◆主催およびプログラム提供／ 公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本
- ◆特別協賛／ マニライフ生命保険株式会社
- ◆協力／ 社会福祉法人中央共同募金会
- ◆開催日時／ 2012年12月2日（日）10時～14時30分
- ◆会場／マニライフ生命保険株式会社本社
（住所：東京都調布市国領4-34-1）



- ◆参加資格および人数／
小学校4～6年生の男女。
決勝戦には、各地区予選の上位合計8チーム（1チーム4～6名）が参加。

◆決勝戦参加児童

- 関東4チーム 16名（男子4名、女子12名：小学4年生4名、小学5年生7名、小学6年生5名）
- 関西1チーム 4名（女子4名：小学6年生4名）
- 東海1チーム 4名（男子2名、女子2名：小学5年生2名、小学6年生2名）
- 九州1チーム 4名（男子2名、女子2名：小学5年生4名）
- 北海道1チーム 6名（男子3名、女子3名：小学4年生2名、小学5年生4名、）

◆決勝戦アワード（チームメンバー全員に進呈）

- 優勝：表彰状と図書カード10,000円分
- 準優勝：表彰状と図書カード5,000円分
- 3位：表彰状と図書カード2,000円分
- 4～8位：表彰状と図書カード1,000円分



<優勝したCAPSMILE（中央4名）と森田均代表執行役社長（左）、マニライフ生命キャラクター「マニユビー」（右）>



<iPad を使って作戦をたてる子どもたち>



<表彰状を受け取り笑顔を見せる子どもたち>



<全国から集まった決勝戦参加全メンバー>

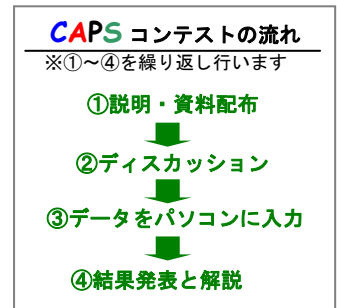
◆『CAPS』プログラムについて

CAPSは、世界最大の民間の非営利経済教育団体、ジュニア・アチーブメント（JA）が小学校高学年から中学生向けに開発した経営シミュレーション・プログラムです。

<http://www.ja-japan.org/program/simulation/caps/manulife.html>

CAPSでは、チームメンバーがディスカッションしながら、ぼうしの値段、仕入れ数、宣伝広告費、ぼうしにししゅうを入れるのにどの機械をレンタルするかなどを決めて、パソコンに入力します。全チームの入力が済むと、各チームの業績が出され、それをもとにまた次期の戦略を決め、またその業績が出されるとい実習を繰り返していきます。

なお、この「CAPS」プログラムは、学校の授業での使用を前提に、マニライフ生命の特別協賛により学校向けに無償提供されるものです。本来の目的は、参加した子どもたちに実社会の経済の働きやお金を得ることの難しさ、楽しさを実習する機会を提供するとともに、意思決定力、他人と違う意見を述べる勇気、自分と違う意見に耳を傾ける寛容性、リーダーシップ、チームワークなど、今後生きていく上で必要となる資質の重要性を実感してもらうことにあります。



◆ジュニア・アチーブメント

1919年米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しています。日本本部の設立は1995年で、教材を導入する学校は全国に拡大しています。

社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質（主体的に社会に適應できる力）を育むための支援を提供しています。詳しくは、ウェブサイト（www.ja-japan.org）をご参照ください。

◆マニライフ生命保険株式会社（マニライフ生命）

マニライフ生命保険株式会社（「マニライフ生命」）は、マニライフ・ファイナンシャル社のグループ企業です。マニライフ・ファイナンシャルは、主にアジア、カナダ、米国を中心に事業を展開しているカナダ系大手金融サービス・グループです。マニライフは信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、お客さまにお届けすることを目指して、2012年で創業125周年を迎えました。同社職員、エージェンต์および販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、機関投資家のお客さまには、資産運用サービスもご提供しています。マニライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2012年9月30日現在5,150億カナダドル（5,230億米ドル）となっています。カナダおよびアジア地域ではマニライフ・ファイナンシャル（マニライフ）として、米国においては主にジョン・ハンコックのブランドで事業を展開しています。マニライフ・ファイナンシャルは、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニライフ・ファイナンシャルについての詳細はウェブサイト（www.manulife.com）をご覧ください。マニライフ生命のウェブサイトは次の通りです。

www.manulife.co.jp

◆中央共同募金会

社会福祉法人中央共同募金会は、全国47都道府県共同募金会の連合体で、赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

また、寄付金の受入れおよび調整や、民間助成資金・公益信託などの取扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。NHKとの共催による「NHK歳末たすけあい」、ボランティア活動の推進なども行っています。